

学年	高校2年	教科	理科
コース	本科・インター	科目	生物基礎
時間数	2時間/週		

重視したいコンピテンシー

① 創造性	生物学の知識を用いて、未知の生命現象について背景にあるメカニズムを考察することができる
② 探究心	生命現象や生物間の関わり合いについてワクワクする心を持ち、物事の本質を追求する姿勢を持つことができる
③ 異文化理解	生命体、環境、またはそれぞれの相互作用といった多くの視点から一つの現象を見つめる事ができる。

3	免疫について説明できる 自律神経とホルモンについて説明できる	DNA が遺伝情報を持つ分子であることを、タンパク質、細胞、器官などより高次な構造をもちいて説明できる。 フィードバックを説明できる	自身が疑ったことについて、調査し、仮説をたてることができる。また、その仮説を検証するための実験を構築することができる
2	酵素がタンパク質であること、機能をもっていることを知っている セントラルドグマを説明できる 細胞分裂について説明できる 植生分布を知っている	体温調節や血糖値調節がどのようにして行われるか、一連の流れを説明することができる	生体で起こるイベントの完成度の高さを疑うことができる
1	細胞小器官の種類と機能を知っている 心臓、肝臓、腎臓の部位の名前を知っている	呼吸と光合成に酵素が関わっていること、重要であることが理解できる 森林の遷移がなぜおこるのかを順を追って説明できる	恒常性をもたらす力は何なのか、疑い、議論することができる 免疫システムのような複雑なシステムをいかに獲得したのか考察できる
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●生命の基本単位である細胞について理解できる ●呼吸とエネルギーについて理解できる ●細胞分裂について理解できる ●セントラルドグマについて理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習 ●探求活動
	5	生命活動とエネルギー		
	6	遺伝情報の分配		
	7	遺伝情報とタンパク質		
2	9	体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ●恒常性について理解できる ●肝臓、腎臓、心臓のつくりと働きを理解できる ●ホルモンによる調節を理解できる ●免疫について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習 ●探求活動
	10	体内環境を保つ仕組み		
	11,12	体内環境を守る仕組み		
3	1	植生の多様性と遷移	<ul style="list-style-type: none"> ●植生とその多様性について理解できる ●遷移について理解できる ●物質循環について理解できる ●生物の多様性の重要性について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習 ●探求活動
	2	バイオームとその分布		
	3	生態系とその保全		